

第4章 国際化推進の基本目標と基本方向

1 基本目標

(1) 背景

経済、文化など多様な分野において、国境を越えた人々の交流や国家間の相互依存が深まるとともに、国際社会の動きが直接個人や地域に影響を及ぼす時代を迎えています。

このため、地域社会は、国際社会に主体的に参画することによって、地域の活性化を図ることが緊要となっています。そして、ITの発達を契機とするグローバルなコミュニケーションの進展とともに、地球社会は急速に一体化の傾向を強めており、県民一人ひとりによる国際化への理解と積極的な参画が望まれています。また、これからの分権型社会にふさわしい独自の国際化戦略を備え、国際社会に通用する地域の魅力や機能を備えて、厳しい地域間競争に対応できる国際的な地域づくりが求められています。

(2) 本県の特徴

本県は、古くから大陸とのクロスロードとして交流が盛んで、わが国の対外関係において重要な役割を果たしてきました。

現在は九州・山口 1,500 万人経済圏の中心地として、経済、学術、情報、交通などの広範な分野にわたって高い機能集積を有していることに加え、近年アジアとの相互依存は一層深まり、海外との人材、文化、観光などさまざまな分野での交流が本県を經由して進展しています。また、最近ではアジア地域を視野に入れた経済の要衝として欧米からも注目を集めており、戦略的な重要性を高めつつあります。

(3) 本県の目指す方向

本県は、「アジアの世紀」といわれる 21 世紀においてアジアとともに発展することを基本に、特色ある国際貢献・協力の推進、国際交流ネットワークの拡充、活力あふれる拠点づくりの推進、ひらかれた地域社会の形成の 4 つの分野にわたるバランスのとれた国際化政策の推進が求められています。特に、人材の育成や環境技術交流などの知的な支援により国際貢献を果たし、アジアに関する情報を発信する学術・文化や産業経済の拠点としての機能を整備するとともに、国際連携の推進、国際感覚豊かな人づくり、外国人とともにくらす地域づくりなどにより、国際的に魅力あふれる地域づくりを図っていきます。

本県の基本目標

本県は、新たな 21 世紀を世界の諸地域とともに創っていくという「共創」の理念をもって

～ **アジアの交流拠点の実現と国際的な地域づくり** ～

を基本目標として、本県の国際化を推進していくこととします。

2 基本方向

(1) 特色ある国際貢献・協力の推進

本県では帰国後の留学生・研修生が、母国の発展に寄与するだけでなく、それぞれの母国と本県との友好関係の発展・強化のための大きな架け橋となることが期待できることから、高等教育機関や研修機関の集積を生かして留学生や研修生などアジアの人材育成の拠点化を図ります。

また、これまで蓄積してきた環境技術や経験を活用し、アジア・太平洋地域の環境問題や都市問題の解決への貢献を目指します。

(2) 国際交流ネットワークの拡充

本県では、アジアを中心に、海外の各地域とのさまざまなネットワークの構築を目指します。特に、従来の姉妹友好交流等に加えて、青少年、経済、文化など目的別の交流を推進し、ネットワークの形成によって交流機能を一層高めるとともに、近隣諸県や海外諸地域と協力して広域交流圏の形成と発展を図ります。

また、留学生など本県在住経験者のネットワーク化を推進し、外国公館等との連携を進めるとともに、海外駐在員事務所等の拠点機能を高めます。

(3) 活力あふれる拠点づくりの推進

アジアについて理解を深め情報を世界に発信できる基盤の整備と、研究者との人的交流や研究機関との連携などの知的なネットワークの形成を進めながら、学術・文化交流拠点の構築を推進します。

また、アジア諸地域とともに本県が発展するためには、本県産業の高度化と先端技術の交流が不可欠であり、本県の個性を生かしながら、頭脳産業に支えられた国際経済交流拠点の形成と、技術を核とした多様な取引の拠点化を図ります。

さらに、高度情報化に対応する情報通信基盤の強化を図るとともに、交通やコンベンションをはじめとする国際交流基盤の整備を図ります。

(4) ひらかれた地域社会の形成

ひらかれた地域社会を形成するために、諸外国の多様な文化、歴史、価値観などに関する理解や国際情勢への認識を促進することによって、国際感覚豊かな人材の育成を進めます。

また、在住外国人の生活環境の整備と人権啓発の推進と地域社会への参画促進によって、外国人とともにくらす地域づくりに努めます。

さらに、国際交流・協力を推進するために、県民、民間団体、企業、市町村などとの連携と支援を図ります。

ふくおか国際化推進プラン施策体系

